

公開講座 申込方法



申込フォーム

日本美術家連盟 2026年度 前期公開講座のご案内

応募者殺到の場合は抽選です。

お申し込みは、連盟ウェブサイトの〈申込フォーム〉(左QR)よりお願いします。インターネットをご利用にならない方は、FAX等で、①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの講座にお申込みか 事務局までお知らせください。お申込み後に事務局から「参加決定通知書と参加費の請求書」を受け取られた方がご参加できます。定員になり次第締切りますが、

応募者殺到の場合は、抽選にて参加者を決定します。

■技法材料研究委員会会議報告 委員長 小林 裕児

去る5月15日、この春に移転した連盟の新ビルの会議室で主に本年度の「公開講座」の企画について話し合いました。

委員長の選任を行い、前年に続き小林裕児が再任となりました。昨年度の公開講座の報告を受けて、今年度の講座について連盟ならではの企画とは何か、地方開催の必要性などが活発に議論され、各自提案の企画について詳細な検討が行われ、本年度はより専門的な研究会なども企画することが決まりました。年一回だった委員会を9月中に再度開催し実施の内容を深めて行くことも決まりましたので、会員の皆さんから「こんな講座を開いて欲しい」「私の住まいの近くの場所なら講座を開ける」等、事務局まで講座のアイデアや情報をお寄せください。

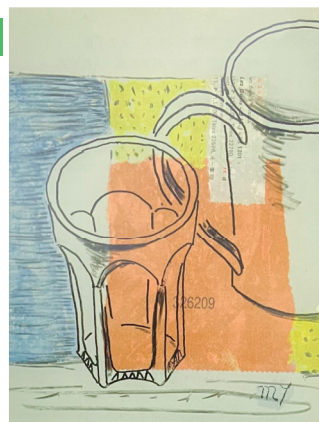
④第一部門：小林裕児・滝沢具幸・武田州左・三浦明範・山本靖久・渡辺達正、(欠席：太田國廣)、第二部門：宇野務・前田耕成

実技 ガラス絵講座 講師 山口 実

8月20日(土) 13:00▶16:00(予定) 場所：日本美術家連盟 会議室

定員 10名 程度 参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

ガラス絵は古くから多くの画家達が様々な材料や技法を駆使しています。今回はインチサイズのガラスにドローイングの線とカラージュを用いて制作します。ガラスには描きにくい鉛筆ですが、線の魅力を求めて油性のダーマトグラフ鉛筆と他に油性顔料ペンを使用します。ドローイングした線の背景に印刷物や布をカラージュして仕上げることで、ガラス絵の面白さや魅力など表現の可能性を発見できればと思っています。



山口実氏によるガラス絵

講義・実技 箔の厚みと硫化表現 講師 森山 知己

9月19日(土) 13:00▶16:00

場所：華鶴大塚美術館 (井原鉄道井原線「子守唄の里 高屋駅」下車 駅のすぐ前)

定員 10名 参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

表現における箔の厚みへの注目と、尾形光琳が使ったかもしれない紅白梅図屏風に見られる黒い水流表現、それを黒以外の色で表現する技法についての勘所講座。

実技 偶発形態による構成 講師 太田 國廣

10月1日(土) 13:00▶16:00 場所：日本美術家連盟 会議室

定員 8名 程度 参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

しみ・滲み・ドリッピング・スクラッチ・マーブリング・フロッタージュなどの各種技法を様々な素材を用いて実践し、これらの偶発性の強い形態を利用した構成法・発想法について考察、実習します。



2024年度開催の同講座「偶発形態による構成」風景

実技 石膏刷り 講師 渡辺 達正

〈かまぼこ板と鍋しきでつくるメゾチント補助具付き〉

10月22日(土) 13:00▶16:00 場所：日本美術家連盟 会議室

定員 8名 程度 参加費：会員 5,000 円・一般 8,000 円

「石膏刷り」は石膏の吸着力を利用して、銅版のインクを転写するので、プレス機が無くても凹版画を刷る事ができます。本講座は私が考案して発売されているキットを使い、ハガキ大ほどの作品を制作します。

今回は私が独自に考案した「かまぼこ板と鍋しきでつくるメゾチント補助具」も使い、敬遠されがちな「メゾチント」も石膏刷りで体験してみましょう。



渡辺講師による石膏刷りとメゾチント補助具